



最近の糖尿病治療について

糖尿病・代謝内科 河邊 聰子



病治療について」というテーマですので、お薬の話をしたいと思います。

糖尿病治療薬、代表選手はインスリン注射です。昔、インスリン注射＝治療の最終手段という時代がありました。インスリンといわれたら重症の糖尿病だ、もう終わりだ！！と考えていませんか？最新の治療では、自分の体を休めるために初期からインスリンを使うことが勧められています。インスリンは臍臓の特別な細胞で作られるホルモンで

というアンバランスな状態なのです。そしてインスリン注射は唯一、赤ちゃんにも妊娠さんにも使える最も体に優しい治療です。

ではインスリン以外の内服薬、注射薬はどうでしょうか？大きく分けると、インスリン分泌を促す薬、インスリノンの効き目を強化する薬、血糖の上昇を緩やかにする薬腸管から出る血糖調整ホルモン（インクレチン）を利用する

昔と比べて 糖尿病治療薬の種類も増え様々な選択ができるようになりました。自分に合った治療法を組み合わせていくことが大切です。そして、すべての薬に副作用の可能性があります。低血糖の可能性や、予防法、対処法など主治医としつかり相談してください。糖尿病を甘くみないこと、治療を中断しないことがなにより大切です。

糖尿病治療で一番大切なことは、今も昔も変わらず食事療法、運動療法です。腹八分目、バランスのとれた規則正しい食事。ウォーキングなど自分にあつた適切な運動が必要です。今回は、「最近の糖尿病治療について」というテーマで、お薬の話をしたいたいと思います。



る薬があります。ここでは新しい治療薬として登場したインクレチンについてお話しします。インクレチンには注射薬があります。体重減少、食欲抑制、血糖改善効果があり、自分のインスリン分泌がある程度保たれている人に有効です。欠点は注射が必要、値段が少し高めなことです。ほかに、自分のインクレチンを強化する内服薬があります。注射薬などの効果はありませんが、副作用が少なく、1日1～2回の内服で血糖の改善が期待できます。内服薬としては少し値段が高めです。

紫外線対策

皮膚科
田中
未知

紫外線は、かつてはビタミンDをつくるといつてこどもに日

在は浴びすぎることによる健康への害のほうがはるかに大きいことがわかり、幼少時から積極的に日焼け止めをつけることをすすめています。

① 急性の害は、いわゆる「日焼け」です。皮膚が赤くなつて、ひどくなると水ぶくれを作ります。(やけどと同じです)

②慢性の害は、紫外線が皮膚細胞の遺伝子を傷つけることによっておこります。

軽いものはしみ・しわですが、「いぼ」やある種の皮膚がんも小児のころからの長期間の日光照射が原因です。とはいっても最も皮膚がんの少ない人種といわれています。(最も多いといわれているオース

日常生活ならば、S P F 20（この数字が高くなるほど日焼け止めの効果が高くなります）程度あれば十分です。ただし、汗で落ちたら塗りなおしてください。説明書にある使用量もしつかり守りましょう。「ノンケミカル」「ベビー用」といっているものは紫外線吸収剤不使用で、かぶれにくいのですが、「しろ浮き」する欠点があります。

紫外線の害を防ぐには、「浴
ないこと」が第一です。
覆うこと。帽子、長袖の
服などで露出部を減らすこと。
暑い季節なので大変ですが、可能ならばこれを試
みてください。

ジェネリック医薬品について その2

薬剤センター科長 中野一男

今回はジエネリック医薬品が先発医薬品と比較してどのくらい徹底的に排除が求められる。

様に、同等の品質を確保して
いるかをお話ししたいと思
います。

さて、①で純度がクリアさ
れると②の製剤（カプセル、
錠剤、顆粒など）について異

①医薬品の原料（以下原薬）の純度の評価
②製剤（カプセル、錠剤など）の科学的变化を促進する保存条件を用いて、6ヶ月の変

の評価化を確認する」とされている。

③製剤そのものの効果について行われる試験項目が課されています。これらの試薬から医薬品の製剤までの使用期限や保存方法などの重要なデータとなる。こうして、

試されていきて、これらの試験は薬事法に定められる医薬品の公定基準書である日本薬局方の製造基準にての品質を確保した上でこのジェネリック医薬品が先発医薬品

局方に定められた方法（試験に使用する器具、試薬方法など）と同等の効果があるかどうかを評価するために生物学的同一性

等生試験が行われます。同一の健康成人に実際にジエネリック薬と参考薬との間で、主な臨床指標（血清学的指標、心電図、尿検査等）を測定して、その結果を比較する方法です。

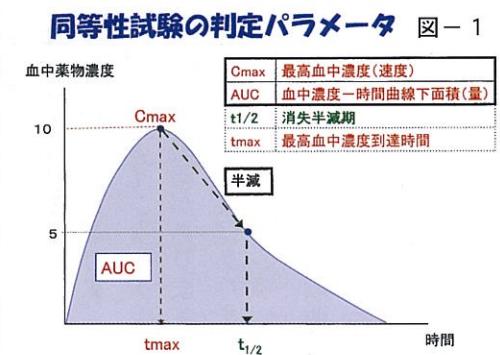
①～③の代表的な試験項目について、簡単に説明したいと思います。まず①の原葉の検定しながら行われます。割合医薬品と先発医薬品を投与して、血中濃度を経時に

品質を規定するには純度試験が行われる、重金属、類縁物（速度）ACC（量）・ちよつとも定に使用される指標は、Cmax

質など原薬の製造過程で混入する可能性のある不純物について専門的過ぎますが要するに血中濃度の推移が量的にも速度

お知らせ

8月の生活習慣病教室は、
休講となります。



的にも先発品と変わらなく推移する事を評価するためにしての試験項目は必ず行ななければ



(院内感染対策委員会 高田)

6月6日に、「院内感染対策講習会」が開催されました。多くの職員に参加して頂きました。

手洗いのやり方、マスク・手袋の装着方法、感染経路別予防策等基本的な内容で、新入職者は知識として定着しやすく、その他の方には再確認することができ、とても有意義な講習会でした。

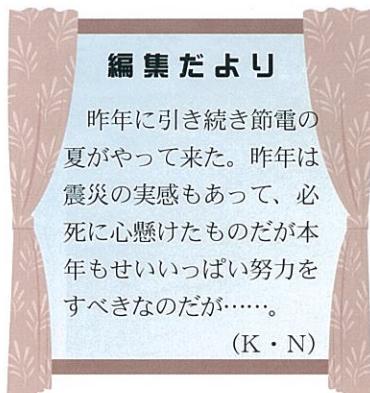
次回も多くの職員方に参加して頂き、病院全体で感染対策の知識を深めていきたいと思っております。

院内感染対策講習会

6/6

医療安全講習会

6/8



編集だより

昨年に引き続き節電の夏がやって來た。昨年は震災の実感もあって、必死に心懸けたものだが本年もせいいっぱい努力をすべきなのだが……。

(K・N)



(医療安全推進室 岩井野)

今回は、初めて「転倒・転落」をテーマに採り上げました。通常の医療事故とは少し性格の違うものであつたが、医療の質や安全性の向上という意味では重要なある。転倒・転落は、どんなに注意してもリスクはつきまとったのが現実であるが、問題を早く察知して適切に対処したり、再発を防止したりするには大切な講習会がありました。

診療科目

【一般外来】

総合診療科(内科)、消化器内科、内分泌内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、心療内科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、ペインクリニック科、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来(シャント外来)

【専門外来】

整形専門(股関節、脊椎、スポーツ)
小児科(小児循環器、小児心理)
循環器(心臓血管外科)
形成外科(アンチ・エイジング、レーザー)
皮膚科(レーザー)

病院理念 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 504床 (一般445床 医療療養型59床)

施設

敷地 57,911 m² 駐車場 1040台



日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター	Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス	Tel 029-874-8791
介護老人保健施設 春秋園	Tel 029-870-3100

